

鹿島槍スキー場から黒沢尾根経由～さのさかスキー場

平成22年4月3日(土)

メンバー:AT、IO、KO(記)

天候:晴れ～曇りのち雪

コースタイム:ペアリフト下9:30～鹿島槍スキー場Top(10:00-10:10)～さのさかスキー場ボトム(12:40)

概要。今回は小遠見山から天狗岳を経て南に伸びる黒沢尾根を鹿島槍スキー場までトレースすることにした。しかし、1日で行くにはロングコースになるので、2日に分けて行くことにした。天気の状態からまず1日目は鹿島槍スキー場から黒沢尾根を経由して、さのさかスキー場に入る楽勝コースにした。

鹿島槍スキー場は4日までの営業となっていたが、最上部のペアリフトは搬機が外され営業を取りやめていた。少しがっかりしたが歩くしか仕方がない。ここで準備して急峻なゲレンデをシールを効かせて登ったが、約30分程のアルバイトになった。

最初、天気はまずまずであったが、爺ヶ岳や鹿島槍ヶ岳の山並みはガスのためはっきり見ることができず残念であった。しかし、黒沢尾根の広々としたミズナラやブナ林の景観はうつくしく、右手に志賀高原から戸隠連峰、飯縄山、菅平高原、眼下に青木湖を望むことができ、眺めの素晴らしいコースであった。

コース中は枝尾根があって迷いやすい箇所もあるが、目印のリボンが付いていることや、明瞭な尾根であるので、忠実に尾根筋を辿れば迷うことはない。

スキー場Topから1時間20分ほどのアップダウンを繰り返して、長見山(1665.2m)からさのさか方面に下っている尾根に出合ったところで休憩、このころから雪の降りが激しくなってきた。

休憩後、ここでシールを外し、さのさかスキー場に向けて滑降した。コース途中で巨大な真新しい電波塔に出会い、これに通じる林道が見つかったので、ところどころ林道を滑りながら、営業の終わったさのさかスキー場のゲレンデに出た。最後は、誰も居ないゲレンデにシュプールを残し、あらかじめ、車を回送していた駐車場に降り立った。



スキーTopまで歩いて登る



木に付けられた目印



広々とした尾根を辿る



長見山に続く尾根途中



さのさかスキー場



さのさかスキー場にて